

第一章 調査概要

1. 調査目的

女性が個性と能力を十分に発揮し、活躍できる環境づくりを推進するため、県内企業及びそこに勤める女性従業員を対象に、女性活躍の取組みや課題、その意識を探るとともに、結果を分析・検討し、今後の県の施策に活用することを目的とする。

2. 調査方法

- (1) 調査時期 : 令和元年9月
- (2) 調査対象 : 県内企業2,000社及びその企業に勤める女性従業員2,000人
- (3) 抽出方法 : 層化無作為抽出法
- (4) 調査票の配布・回収方法 : アンケート方式郵送調査
- (5) 調査主体 : 岐阜県健康福祉部 子ども・女性局 男女共同参画・女性活躍推進課
- (6) 調査集計・分析 : 株式会社中部タイム・エージェント

3. 回収結果

	発送数	有効発送数	有効回答件数	有効回答率
企業	2,000	2,000	667	33.4%
女性従業員	2,000	2,000	672	33.6%

4. 調査結果の表記等

(1) 回答比率

回答比率は、原則としてその設問の回答者数（無回答を含む）を母数として算出した。クロス集計に関しては、分類別の回答者数を母数としている。

(2) 小数点以下の表記

回答比率は小数点以下第二位を四捨五入し、百分率で表記している。そのため、回答比率の合計が100%にならないことがある。

(3) コメント、図表などにおける選択肢の表記

イ. 各設問における選択肢の簡略表記

報告書中、グラフや図表を簡素化し、また分析コメントを読みやすくすることを目的として、各問における選択肢を適宜簡略化して表記しているところがある。設問文及び選択肢の詳細については、巻末の資料「調査票」を参照されたい。

ロ. 図表中の表記

図表中の表記については以下のとおりである。

n	当該設問における各分類のサンプル数
SA	単一回答
MA	複数回答

ハ. その他

クロス集計において、属性ごとのサンプル数が少ない（n=10未満）場合には、分析に堪えないことから参考値として掲載する。

(4) 過去又の調査との比較

本調査では、県内企業等の意識の変化を時系列で分析するため、『女性の活躍支援拠点に関する調査（平成28年3月 岐阜県健康福祉部子ども・女性局 女性の活躍推進課、平成27年度調査）』の共通する設問との比較を行った。ただし、過去の調査では調査対象者に就労していない方も含まれている等、本調査と母集団が同一ではないため、単純な比較検討とはならないことに留意する。

5. 標本誤差について

標本調査による集計は必ず誤差を含むが、この誤差は比率算出の基数（有効回答数＝n）と、与えられた比率（回答比率＝p）によって異なる。無作為抽出の場合、それは次の式で与えられる（信頼率95%の場合）。

$$\text{誤差率} = 1.96 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p \times (1-p)}{n}}$$

(1.96＝信頼区間、N＝母集団、n＝標本数、p＝回答パーセント)

層化を行った場合、誤差は上表より若干増減することもある。

クロス集計を行う場合は、男女別、年齢別などの属性によって基数が異なり、公式から明らかなように基数（有効回答数＝n）が小さいほど誤差が大きくなる。したがって、クロス集計の結果、基数が少ない項目については、誤差を生む可能性が大きいことに十分配慮する必要がある。